

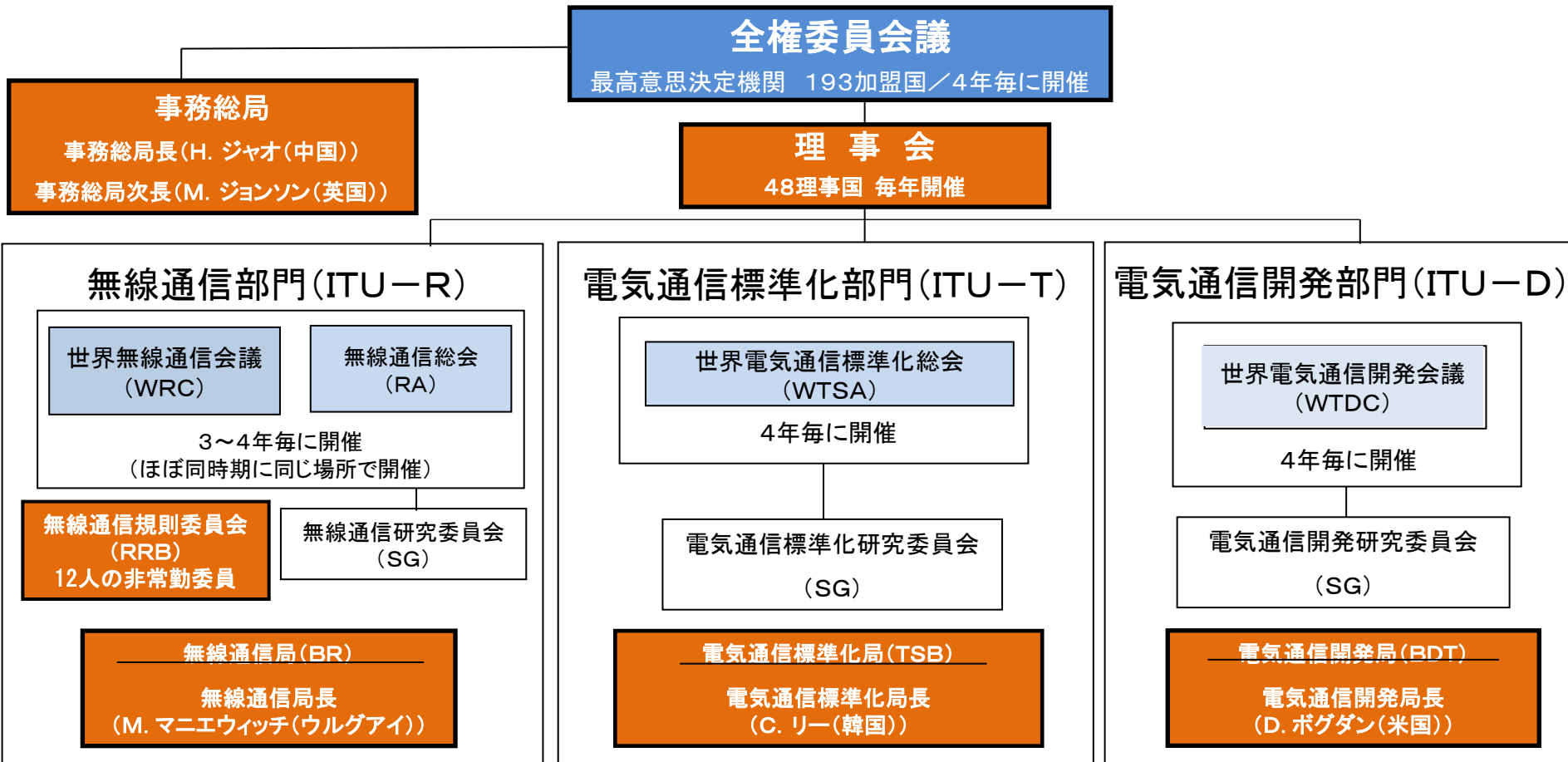
尾上誠蔵氏 ITU-T局長当選
～全権委員会議2022を振り返って～

令和4年12月13日
佐々木祐二（前総務審議官）

国際電気通信連合 (ITU) の概要

1

- 電気通信に関する国際連合の専門機関 (ITU : International Telecommunication Union)
- 主要任務は、①国際的な周波数の分配、②電気通信の標準化、③途上国に対する電気通信の開発支援
- 本部: スイス・ジュネーブ 193の国・地域が加盟
- 日本は1959年以来、理事国(48カ国)に選出
- 日本は米国と並び最大の分担金拠出国(30単位(約11億円))
- 1999年～2006年の事務総局長は、旧郵政省出身の内海善雄氏

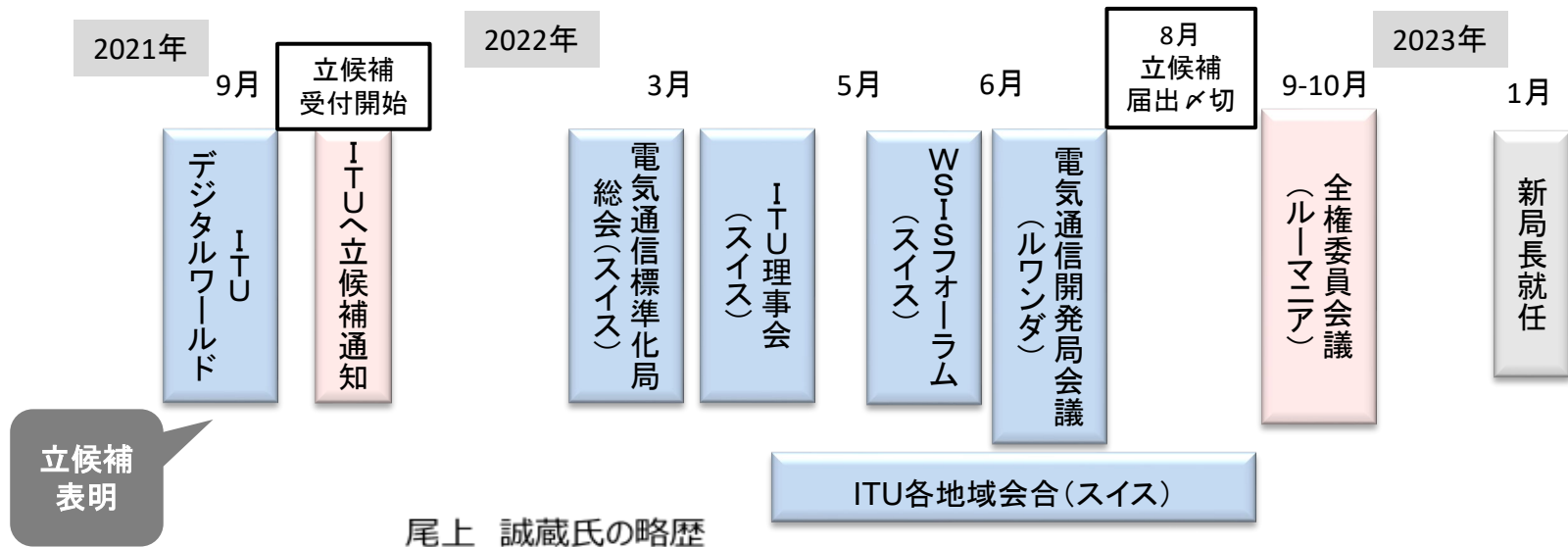


ITU幹部ポストの立候補状況

(最終)

2

	事務総局長	総局次長	R局長	T局長	D局長
現職	H・ジャオ氏(2期目) (中国)	M・ジョンソン氏(2期目) (英国)	M・マニエウィッツ氏(1期目) (ウルグアイ)	C・リー氏(2期目) (韓国)	D・ボグダン氏(1期目) (米国)
地域	事務総局長候補	総局次長候補	R局長候補	T局長候補	D局長候補
A 米州	・米国 (ドリーン・ボグダン氏) (ITU-D局長)		・ウルグアイ (マリオ・マニエウィッツ氏) (二期目)		・バハマ (ステファン・ビュロー氏) (現ITU-D職員 D2)
B 欧州		・リトアニア (トーマス・ラマナウスカス氏) (エンビジョン・アソシエイツ)		・ドイツ (トーマス・ツィルケ氏) (経済エネルギー省デジタル・イノベーション局室長)	
C 東欧	・ロシア (ラシッド・イスマイロフ氏) (元・通信・マスコミ省次官)				
D アフリカ				・チュニジア (ピレル・ジャムシ氏) (現ITU-T職員 D1)	AUのエンドース ・ジンバブエ (コスマス・ザバザバ氏) (現ITU-D職員 D1) ・ガンビア (ムハンマド・カー氏) (寿府代大使) ・カメルーン (アレキサンダー・ウントコ氏) (現ITU-T職員 D1) ・コンゴ(共) (ジーン・キサンゴー氏)
E アジア・大洋州		・韓国 (チェイサブ・リー氏) (現ITU-T局長) ・サモア (ニサ・パーセル氏) (現サモア規制庁CEO)		・日本 (尾上誠蔵氏) (NTT CSSO)	・パキスタン (アヌーシャ・ラーマン・カーン 女史)



ふりがな	おのえ	せいぞう
氏 名	尾上	誠蔵
会 社 名	日本電信電話株式会社 CSSO (Chief Standardization Strategy Officer)	
おおよび役職		
生年月日	1957年5月12日 (65歳)	
職 歴	1982年	日本電信電話公社(現NTT) 入社
	2012年	株式会社NTTドコモ取締役常務執行役員 CTO (Chief Technology Officer)
	2017年	ドコモ・テクノロジー株式会社代表取締役社長
	2021年～現在	日本電信電話株式会社 CSSO
主な 対 外 活 動	【国際】	2012年 GSMA, Member of the Board 2013-2021年 GSMA, Member of the Strategy Group 2012-2020年 Next Generation Mobile Networks Alliance, Member of the Board
	【国内】	2003-2005年 電波産業会 IMT-2000研究委員会 国際仕様部会 部会長 2006-2011年 電波産業会 高度無線通信研究委員会 IMT-Advanced部会 部会長 2011年-現在 電波産業会 規格会議 委員長 2011-2012年 電子情報通信学会 通信ソサイエティ 副会長・国際委員長
ITU関連活動	2011年	ITU 無線通信部門 Regional Workshop on "IMT for the Next Decade"
	2015年	ITU 電気通信標準化部門 CJK-CTO Consultation 会合
	2015年	WTIS (World Telecommunication ICT Indicators Symposium)
	2016年	第16回 アジア・太平洋電気通信共同体(APT) 規制政策フォーラム
表 彰 経 歴	2014年	文部科学省 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)
	2018年	紫綬褒章



ONOE, Seizo

Candidate for the Director of the ITU
Telecommunication Standardization Bureau



Standards for connecting the world
through technological innovation

Commitment

- O pen and inclusive program
- N ew Ecosystem
- O utreach worldwide
- E fficient and Effective management





尾上 誠蔵（日本電信電話株式会社 CSSO） ITU電気通信標準化局長候補

長所・成果

1. 世界が認める通信業界のリーダー

LTEを含む移動通信ネットワークの標準化を主導、
貢献は世界に認められ「LTEの父」と呼ばれる

2. 標準化を熟知したプロフェッショナル

SDO（標準化団体）の活動を国際的にリード

3. 豊富な組織運営経験、卓越した経営手腕

日本最大の移動通信事業者で、R&D及び
新規ビジネスを主導

コミットメント

O オープンでインクルーシブ

様々なステークホルダー参画を促すことで多
様性を向上

N 新たなエコシステムの創設

ITU内部や他のSDO等の外部機関との連携を
強化

O 世界に向けたアウトリーチ

途上国との標準化ギャップ解消し、世界中に
技術の恩恵をもたらす

E 効率的・効果的なマネジメント

効率的な資源配分で効果的な組織マネジメ
ントを実施

キャパビル事業について

キャパビル事業の結果

- 【日時】 各コース3日～6日間)
- 【参加者】 各国政策高級実務レベル1～2名（実際には大臣～補佐級まで国によって多様）
- 【概要】
 - ・開講式にて総審／次長による主催者挨拶。
 - ・総務省政策に関する講演。尾上候補から移動通信の講義。
 - ・参加国のニーズを踏まえてB5GやICT利活用分野（農業、教育、遠隔医療）、サイバーセキュリティ等に関する講義。ICT関連の施設訪問。
 - ・各国からICT政策の課題プレゼン、意見交換（尾上候補による議事進行／コメント）
 - ・閉講式にて総審／次長から挨拶と修了証の授与。



留意点：コロナ規制による出入国規制の制約、アフリカWSの成功、人間関係構築に寄与（キャパビル参加経験者51名のうち15名はPPに参加）

【参考】全体の開催実績(第1回～第5回)

開催日程	開催地(会場)	招待地域・招待国	国数	招待数
5月13日～18日 (APT-PP22-3会合に接続)	日本(東京)	太平洋島嶼国他(APT加盟国)	3カ国	6名
6月17日～20日 (WTDC-21会合に接続)	ルワンダ(キガリ)	アフリカ	18カ国	21名
7月26日～29日	日本(東京)	アジア太平洋島嶼国、中南米・カリブ島嶼国	15カ国	16名
8月2日～5日	日本(東京)	CIS(Commonwealth of Independent States)、アフリカ	7カ国	8名
9月22日～24日 9月28日～10月3日 (ITU全権委員会議に接続)	ルーマニア(ブカレスト)	太平洋島嶼国、米州・カリブ、アフリカ	11カ国	14名
			54カ国	65名

PP-22のスケジュール(電気通信標準化局長まで)

	9/26(月)	9/27(火)	9/28(水)	9/29(木)	9/30(金)
午前	オープニング	プレナリ ・ポリシーステートメント	プレナリ ・ポリシーステートメント	プレナリ ・ 事務総局長選挙 9:40 説明・投票開始 10:15 投票終了 11:00 結果発表	プレナリ ・ポリシーステートメント ・ 3局長選挙 10:40 説明・投票開始 11:05 投票終了 12:30 結果発表(※) ※R、T、D局の順に発表
昼	ランチレセプション ・ チュニジア 、ガンビア、ポーランド	ランチレセプション ・英国、ブルガリア、エジプト	ランチレセプション ・ケニア、豪州	ランチレセプション ・マレーシア、バハマ	ランチレセプション ・中国、ギリシャ
午後	プレナリ ・手続事項等 ・ポリシーステートメント	プレナリ ・ポリシーステートメント	プレナリ ・ポリシーステートメント	プレナリ ・ポリシーステートメント ・ 事務総局次長選挙 15:15 説明・投票開始 15:50 投票終了 16:30 結果発表	プレナリ ・ポリシーステートメント ・D局長選挙(※) ※3ラウンドまで実施して決着
夜	ルーマニア主催レセプション	夕食レセプション ・韓国、米国、サウジ、インド	夕食レセプション ・リトアニア、 日本 、ルワンダ、バーレーン、インドネシア	夕食レセプション ・タンザニア、ジンバブエ、 ドイツ 、タイ、モロッコ	夕食レセプション ・南ア、UAE、イタリア

電気通信標準化局長選挙

ITU幹部ポスト選挙結果(PP-22)

7

1. 事務総局長

候補者名	出身国	得票数
当選 ドリーン・ボグダン・マーティン	米国	139
ラシッド・イスマイロフ	ロシア	25

有効票：164（投票：172、無効：4、棄権：4）

2. 事務局次長

候補者名	出身国	得票数
当選 トマス・ラマナウスカス	リトアニア	105
チェイサブ・リー	韓国	59
ギサ・パーセル	サモア	12

有効票：176（投票：179、無効：1、棄権：2）

3. 局長

無線通信局長

候補者名	出身国	得票数
当選 マリオ・マニエウツ(現職)	ウルグアイ	174

有効票：174（投票：181、無効：2、棄権：5）

電気通信標準化局長

候補者名	出身国	得票数
当選 尾上誠蔵	日本	93
ビレル・ジャムシ	チュニジア	65
トーマス・ツィルケ	ドイツ	21

有効票：179（投票：181、無効：2、棄権：0）

電気通信開発局長

候補者名	出身国	1回目	2回目	3回目
当選 コスマス・ザバザバ	ジンバブエ	59	81	101
ステファン・ビュロー	バハマ	47	59	63
ムハンマド・カー	ガンビア	35	26	辞退
アヌシャラマン・カーシ	パキスタン	20	15	辞退
アレクサンダー・ウントコ	カメルーン	11	辞退	辞退
ジーン・キサングー	コンゴ共	8	辞退	辞退

【1回目】有効票：180（投票：181、無効：1、棄権：0）

【2回目】有効票：181（投票：181、無効：0、棄権：0）

【3回目】有効票：164（投票：165、無効：0、棄権：1）

4. 理事国（定数４８）

A地域：米州（定数９）

順位	国名	得票数
1	アルゼンチン(前)	170
2	ブラジル(前)	166
2	メキシコ(前)	166
3	バハマ(前)	163
4	カナダ(前)	162
5	キューバ(前)	161
6	米国(前)	159
7	パラグアイ(前)	158
8	エルサルバドル(前)	153

有効票：181（投票：182、無効：0、棄権：1）

B地域：西欧（定数８）

順位	国名	得票数
1	イタリア(前)	156
2	英国	151
3	スウェーデン	143
4	スイス(前)	142
5	スペイン(前)	140
6	フランス(前)	139
7	ドイツ(前)	138
8	トルコ(前)	122
9	ギリシア(前)	99
10	ハンガリー(前)	92

有効票：179（投票：182、無効：1、棄権：2）

C地域：東欧・北アジア（定数５）

順位	国名	得票数
1	ルーマニア(前)	160
2	アゼルバイジャン(前)	154
3	ポーランド(前)	138
4	ブルガリア	137
5	チェコ(前)	134
6	ロシア(前)	73
7	ベラルーシ	44

有効票：179（投票：182、無効：0、棄権：3）

注：（前）は前会期（2019-2022年）の理事国を表す。

D地域：アフリカ（定数１３）

順位	国名	得票数	順位	国名	得票数
1	ケニア(前)	146	9	モーリシャス	131
2	ガーナ(前)	145	9	ルワンダ(前)	131
3	エジプト(前)	142	10	ウガンダ(前)	127
4	タンザニア	141	11	南アフリカ(前)	122
5	アルジェリア(前)	138	12	ブルキナファソ(前)	118
5	モロッコ(前)	138	13	コートジボワール(前)	117
6	セネガル(前)	137	14	ニジェール	90
7	ナイジェリア(前)	136	15	カメルーン	68
8	チュニジア(前)	133			

有効票：180（投票：182、無効：2、棄権：0）

E地域：アジア・太平洋州（定数１３）

順位	国名	得票数	順位	国名	得票数
1	UAE(前)	164	8	サウジアラビア(前)	143
2	インド(前)	160	9	豪州(前)	141
3	インドネシア(前)	157	10	韓国(前)	140
4	タイ(前)	152	11	バーレーン	139
5	マレーシア	147	12	中国(前)	135
6	日本(前)	146	13	ヨルダン	121
7	クウェート(前)	145	14	イラン(前)	91
7	フィリピン(前)	145	15	イラク	63

有効票：180（投票：182、無効：2、棄権：0）

7. 無線通信規則委員会（R R B）委員（定数12）

注：（現）は現職を表す。

A地域：米州（定数2）

順位	国名	委員名	得票数
1	カナダ	ボミア(現)	148
2	ブラジル	リナレス	100
3	メキシコ	モヒカ	99

有効票：181（投票：182、無効：0、棄権：1）

B地域：西欧（定数2）

順位	国名	委員名	得票数
1	フランス	アンリ(現)	131
2	イタリア	クレツェンツォ	117
3	スペイン	ディアスフロレス	92

有効票：175（投票：182、無効：0、棄権：7）

C地域：東欧・北アジア（定数2）

順位	国名	委員名	得票数
1	アゼルバイジャン	ハサノバ(現)	114
2	カザフスタン	ヌルシャベコフ	76
3	スロバキア	マタス	66
4	ロシア	バーラモフ(現)	57
5	ウズベキスタン	ガタウリナ	33

有効票：177（投票：182、無効：0、棄権：5）

D地域：アフリカ（定数3）

順位	国名	委員名	得票数
1	エジプト	アズアズ(現)	141
2	モロッコ	タリブ(現)	131
3	ガーナ	フィアンコ	126
4	南アフリカ	ムチュヌ(現)	109

有効票：180（投票：182、無効：0、棄権：2）

E地域：アフリカ（定数3）

順位	国名	委員名	得票数
1	インド	マネパリ	139
2	サウジアラビア	アルカタニ	132
3	中国	チェン	123
4	インドネシア	スチャルジョコ	116

有効票：180（投票：182、無効：0、棄権：2）

10月1日産経新聞11面

ITU局長に NTT尾上氏

電気通信標準化局

国連の専門機関、国際電気通信連合（ITU）はルーマニアの首都ブカレストで開催中の全権委員会議で



30日、次期電気通信標準化局長選挙を行い、日本政府

が擁立したNTTの最高標準化戦略責任者（CSSO）、尾上誠蔵氏（65）を真選出した。来年1月に就任し、任期は4年。

ITU電気通信標準化局は、各国の通信事業者らが通信技術やサービスの標準化について議論する部門。今後、次世代携帯電話の通信方式である第6世代（6G）移動通信システムの標準化が主題になるとみられるため、議論を主導する観点から擁立を決めた。

尾上氏は昭和57年に日本電信電話公社（現NTT）に入社。NTTドコモ取締役常務執行役員（CTO）（最高技術責任者）などを経て、令和3年9月から現職。

10月1日読売新聞8面

ITU局長に NTT尾上氏

国連専門機関



国連の専門機関・国際電気通信連合（ITU）

の幹部選挙が30日、ルーマニアのブカレストで行われ、NTT役員の尾上誠蔵氏（65）を真選出した。来年1月から4年で、新たな通信規格「ビヨンド5G（6G）」に向けた国際ルールづくりの議論を主導することが期待される。

尾上氏はNTTドコモの元最高技術責任者（CTO）で、「4G」の通信規格の一つ「LTE」の規格作りに携わった。現在は、NTTで国際標準化

の戦略を担う役員を務めている。

同局長は、トップの事務総局長、事務総局次長に次ぐポストにあたる。日本人がITUの要職に就くのは、事務総局長を務めた内海善雄氏以来、約16年ぶりとなる。政府は「5G」の開発で出遅れた反省を生かし、「6G」で巻き返しを図りたい考えだ。